

平成 23 年度京都大学吉田地区 ESCO 事業提案審査の講評

京都大学吉田地区 ESCO 事業は、民間のノウハウ、経営能力及び技術的能力を活用することによって、京都大学における省エネルギー化を推進し、環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的な削減を図ることを目的としたものであります。先般、広く事業提案を募集したところ 6 企業グループから参加表明及び選考用提案書が提出されました。

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会は、これらの提案書に基づき各企業グループのプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案者として(株)関電エネルギーソリューションを代表者とするグループ、優秀提案者として (株)山武を選定しました。

最優秀提案では、冷暖切替のマルチユニット空冷ヒートポンプチラーの採用によって省エネルギーと二酸化炭素削減の効果が大きいこと、さらに熱回収チラーの設置や改修対象エリアにおいてほぼ全数の 40W 照明器具を LED 照明に取り替える等、本施設の特質に沿った適切な省エネルギー手法の提案と計画がなされ、具体性・妥当性があり、全体としてバランス良く計画されていることなどを高く評価しました。

また、優秀提案では、十分な省エネルギー効果に加えて契約期間中の大学利益総額が大きく、とくに部分負荷効率のよいインバーターターボ冷凍機の提案は本学施設の将来の省エネルギー方策の模索をする上において技術的な示唆を与える優れた提案であることを評価しました。

今回の募集に際しては、病院としての特質を踏まえ、リスクに対して配慮された設備更新計画を要請しました。各グループからは、これに応じた様々な設備・手法の提案があり、蓄電システムの検討、ヒートポンプ給湯設備、電力デマンドの見える化の導入など、省エネルギーと二酸化炭素の削減につながる意欲的で優れたアイデアや、各種の LED 照明の導入などライフサイクルでみた廃棄物や環境負荷低減を目指す取組みなどが盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と新しい着想に基づいた貴重な提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成 23 年 9 月 26 日

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会委員長

塩 路 昌 宏